



## 自動車・オートバイ委員会の活動について

自動車・オートバイ委員会 委員長 **山本 哲慎**  
(株式会社ユーシン 技術開発部門 製品開発部 東京分室)



### はじめに

日本防犯設備協会の自動車・オートバイ委員会は、自動車、オートバイの盗難に関わる手口や対策に関する調査・研究を目的に、本田技研工業(株)、いすゞ自動車(株)、(株)東海理化様、(株)アルファ、加藤電機(株)、朝日電装(株)、(株)ホンダロック、(株)トランセンド、日本損保協会、(株)ユーシンの10社が参画し活動しております。

### これまでの活動内容

#### 1.自動車、オートバイにおける盗難被害の現状把握

・自動車盗は、2003年の64,223台をピークに、2019年では7,143台と減少傾向が続いています。

自動車盗難防止に関する官民合同プロジェクトチームの設置や、イモビライザ装着などの車両対策、税関の不正輸出の取締強化等が効果を上げています。

・オートバイ盗は、2000年の253,433件をピークに2019年では11,255台と大幅な減少が続いています。

こちらも、イモビライザ装着やシャッターキーなどのハード面対策の普及効果が大きいと思われます。

#### 2.各都道府県警署における取組み方針の確認

・愛知県警、茨城県警、大阪府警への訪問とヒヤリング

国内でもワーストとなっている都道府県警に絞り、訪問、及びヒヤリングを行っています。

それぞれに地域性があり、高級車が主なターゲットにされている地域や、商用車、工事車両などの割合が多い地域など、個々にさまざまな傾向がある事が解り、警察の方々もそれに合わせて尽力をされていることが解りました。

また、条例を制定するなどの対策を行い、1件でも盗難を防ぐための活動をされており、我々からも情報を提供する事により、対策のお役に立てる様活動を行っています。

#### 3.建設機械工業会における取組み方針の確認

・日本建設機械工業会訪問とヒヤリング

2001年度を境に現在まで減少傾向にあり、イモビライザの普及、GPS、キー種類増加などにより効果が上がっています。以前はATM破壊用の機械として盗まれる事が多かったのですが、現在は完成品の海外売却がほとんどです。

#### 4.中古車の海外輸出ルート調査

・日本中古車輸出業協同組合、会宝産業(株)、(株)USS(中古車オークション)訪問とヒヤリング

盗難の目的が転売である事も多い為、海外へ流れて行くルートについて調査を行いました。3社様への訪問を行い、海外での日本の中古車の市場や状況、海外に於ける中古車部品の位置づけ、中古車オークションの状況など調査し、国内での自動車盗難と海外での需要について調べました。

#### 5.最新の盗難手口の調査

・リレーアタック

離れているオーナーに窃盗犯が近付き電波を拾い、車両近くにいる窃盗犯にスマートキー情報を流し、車両を盗む手口です。スマートキーを金属ケースに入れるなど微弱電波を遮断する対策が有効です。

#### ・CAN-インベーター

車両のネットワークに不正機器を使って入り、セキュリティシステムを物理的に切断し、盗む手口で、現在調査中です。

## 6.盗難抑止に対する取組み

#### ・セキュリティガイドの改訂

各都道府県警に設置しているセキュリティガイドに最新の情報掲載を行う為、改訂を行いました。

盗難の数値情報を最新に改訂、盗難車両情報、盗難車の海外輸出、イモビライザ装着効果、盗難防止機器(取付型警報装置、GPS発信装置、機械式ハンドルロック、タイヤロック)などについて最新情報を掲載。

#### ・ドライブレコーダーのメーカー、機種調査

最新の機種では、駐車監視システムが搭載され、無線LANでスマートフォンへの自動保存が可能な性能を持っており、遠隔でも確認する事ができます。今後は、コネクテッドカーのセキュリティサービスを確認し、デジタルキーの国際保安基準等の情報収集を行っていきます。

## 現在の活動について

コロナ禍での委員会活動も1年半を経過しており、現在終息を見込んで訪問先や質問項目の作成を進めています。事前に地域情報などを入手し、色々な分析を行い委員会として調査結果を持って訪問を行い、成果を得ていきたいと考えています。

## コラム

最近では監視カメラやドライブレコーダーなどの録画データが解決への糸口になっている事例をよく聞きます。つい最近もその動画が手掛かりになり、SNSで拡散し早期解決になった自動車盗難事例がありました。セキュリティに関わるシステムの進化と適切な価格によって機器の普及が進み、盗難件数の減少及び抑止につながっていると感じます。

また、一方では盗難手口の進化も著しいと思われ、リレーアタック盗難で検挙された事例が世間に広まり、対策も浸透したと思われた瞬間に次の新しい手口での犯行が囁かれる時代です。カーメーカーも新たな手口を予測して車両に織り込んでいるとは思いますが、それを掻い潜る窃盗犯と目まぐるしい状況となっています。転売目的が多い為、高額車がターゲットになっています。皆さまにおかれましても、苦勞して手に入れた愛車は色々幅広く情報入手し、盗難から守って頂きたいと思います。

## 最後に

日頃よりご意見を頂いております、関係各所、会員各位皆さまにはお礼を申し上げますと共に、引き続き自動車・オートバイ委員会としての責務を果たして参りたいと思いますので、よろしくご指導の程、お願い致します。

